

# 安全教室

～安全にバスをご利用いただくために～

令和7年6月16日

横浜市交通局 自動車本部

港北営業所

# 車いすご利用の方との安全教室を開催

---

車いすをご利用のお客様が路線バスをご利用いただく際の安全確保等について、お客様と乗務員双方が理解を深め、さらなる安全確保の強化を目的に、横浜ラポール様のご協力のもと安全教室を開催しました。

# 横浜ラポール様

(ホームページより)

◎障害者スポーツ文化センター横浜ラポール(以下「横浜ラポール」)は、障害者の「完全参加と平等」の実現という国際障害者年の理想に基づき、「国連障害者の10年」の最終年の記念施設として横浜市が平成4年8月28日に開館しました。

◎障害者がスポーツ、レクリエーション、文化活動を通じて、健康づくりや社会参加の促進をはかるとともに、市域における中核施設として、障害者が主体的に参加する中から市民交流を活発に行ない、この活動を広く発展させていくことを目的としています。

◎横浜ラポールの「ラポール」は、フランス語で「心の通い合い」という意味を持っています。この名にふさわしく、横浜ラポールが障害者を中心とした市民相互の交流の輪を広げ、またノーマライゼーションの推進の拠点になれば、非常に喜ばしいことです。



【ラポール外観】

## 横浜ラポールの役割

1. 障害者のスポーツ・レクリエーション振興の中核施設としての役割
2. リハビリテーションスポーツの中核施設としての役割
3. 健康づくりの拠点としての役割
4. 障害者の文化・情報活動の中核施設としての役割
5. 市民相互の交流促進の拠点としての役割
6. 障害者自身の社会参加活動への支援的役割



# 横浜市交通局 港北営業所

乗務員：177名   ▪   整備員：13名  
事務職：12名   ▪   車両台数：94台



開催日時：令和6年12月26日（木）10時から12時

開催場所：障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

参加者：車いすご利用の方8名（スポーツタイプ2名、ウィル6名）

当局11名（営業所責任職2名、係員1名、乗務員6名、運輸課課員2名）

内 容：①バスご乗車時の危険性説明

②車いす固定の重要性及び固定方法説明

③次世代型電動車いす「WHILL」の固定方法

④意見交換

⑤バス乗車体験



バス走行時の危険性及び車いす固定の重要性を説明している時の様子  
当局職員も真剣に聞いていました。



# 安全教室

～安全にバスをご利用いただくために～

令和6年12月26日

横浜市交通局 自動車本部

港北営業所

協賛：社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団

障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

# バス運行中の危険

---

多くの車、二輪車、人が利用する道路上には、様々な「危険」が潜んでいます。

日々、危険を予測し事故防止に全力で臨んでいますが、  
※思わぬことから急ブレーキ等により事故を回避しなければならない状況が、日常的に発生しています。

急ブレーキや急ハンドルにより接触事故は避けられても、車内のお客様には大きな衝撃を与えることになってしまいます。

思わぬことから急ブレーキ等により事故を回避しなければならない状況

例





バスが急ブレーキをかけると、車内転倒事故が起こる危険が高い！

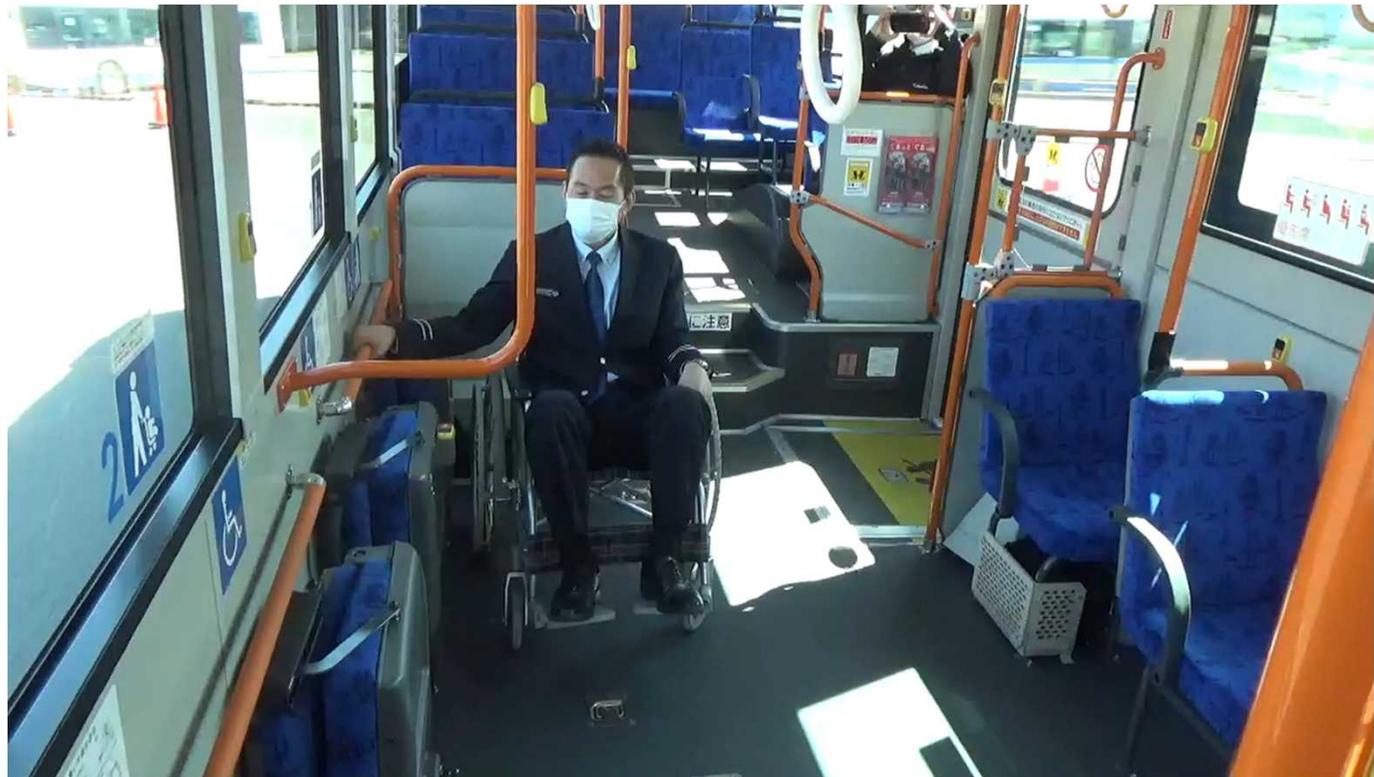


勿論、車いすをご利用してご乗車いただいているお客様も...



完全に固定無しの車いすが車内でどうなるか見てみましょう。

時速27kmからの急ブレーキ



## 同じくベルト固定無しでの急旋回

時速25kmからの急旋回

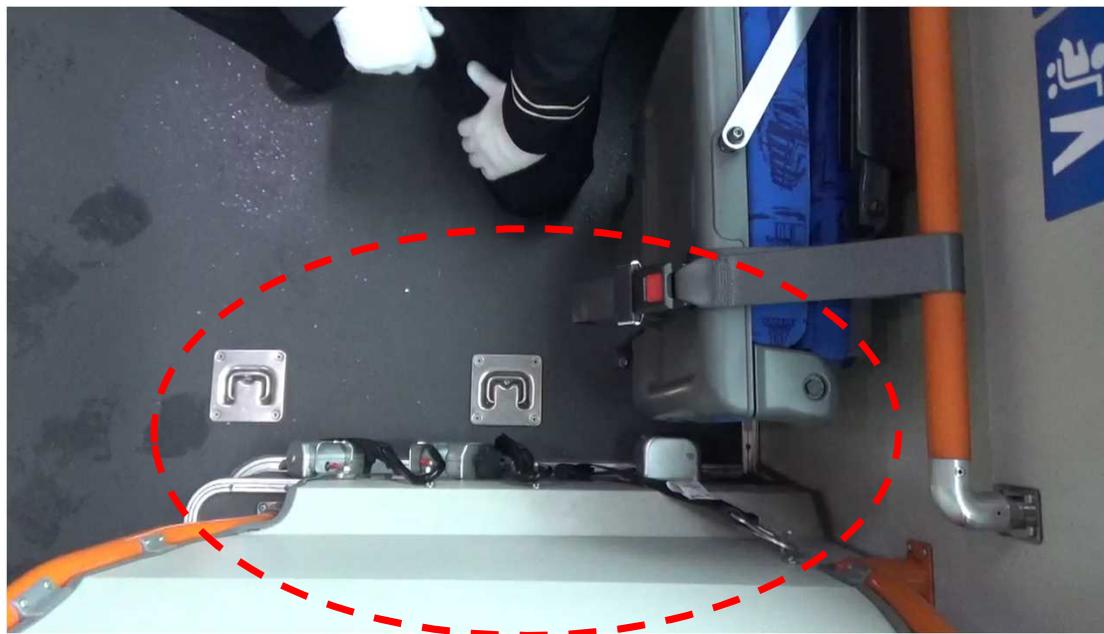




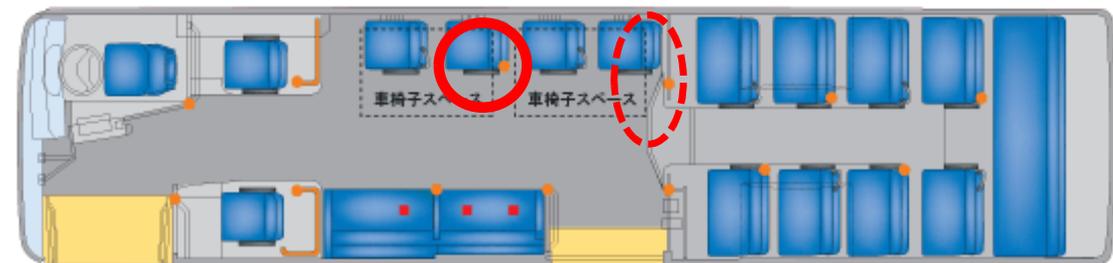
# 固定方法

(乗務員研修ビデオ)

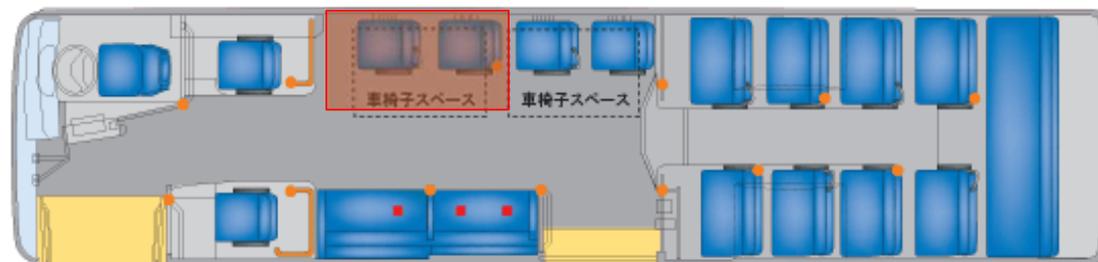
# 始業前点検で固定ベルトと設備の確認 1/2



リトラクタやベルトの動作確認  
シートベルトのように、強く引っ張った時に  
ストッパーが効くかなどの確認



# 始業前点検で固定ベルトと設備の確認 2/2



前方スペース用の車いす固定ベルト類が揃っているか、破損・汚れがないかの確認。

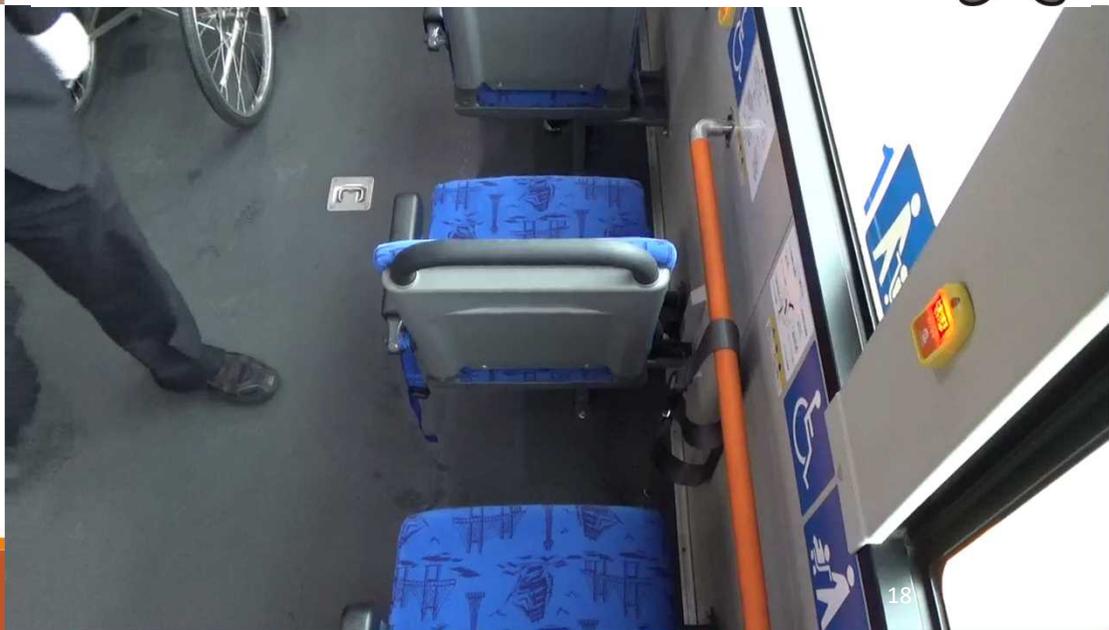


スロープを出す前に...

1. 横転防止ベルトを用具入れから出す
2. 跳ね上げ座席を上げる
3. シートベルトを伸ばし○のフックにかけて準備します。



準備ができたならお客様を定位置まで誘導します。



お客様の奥側ベルトからつけていく

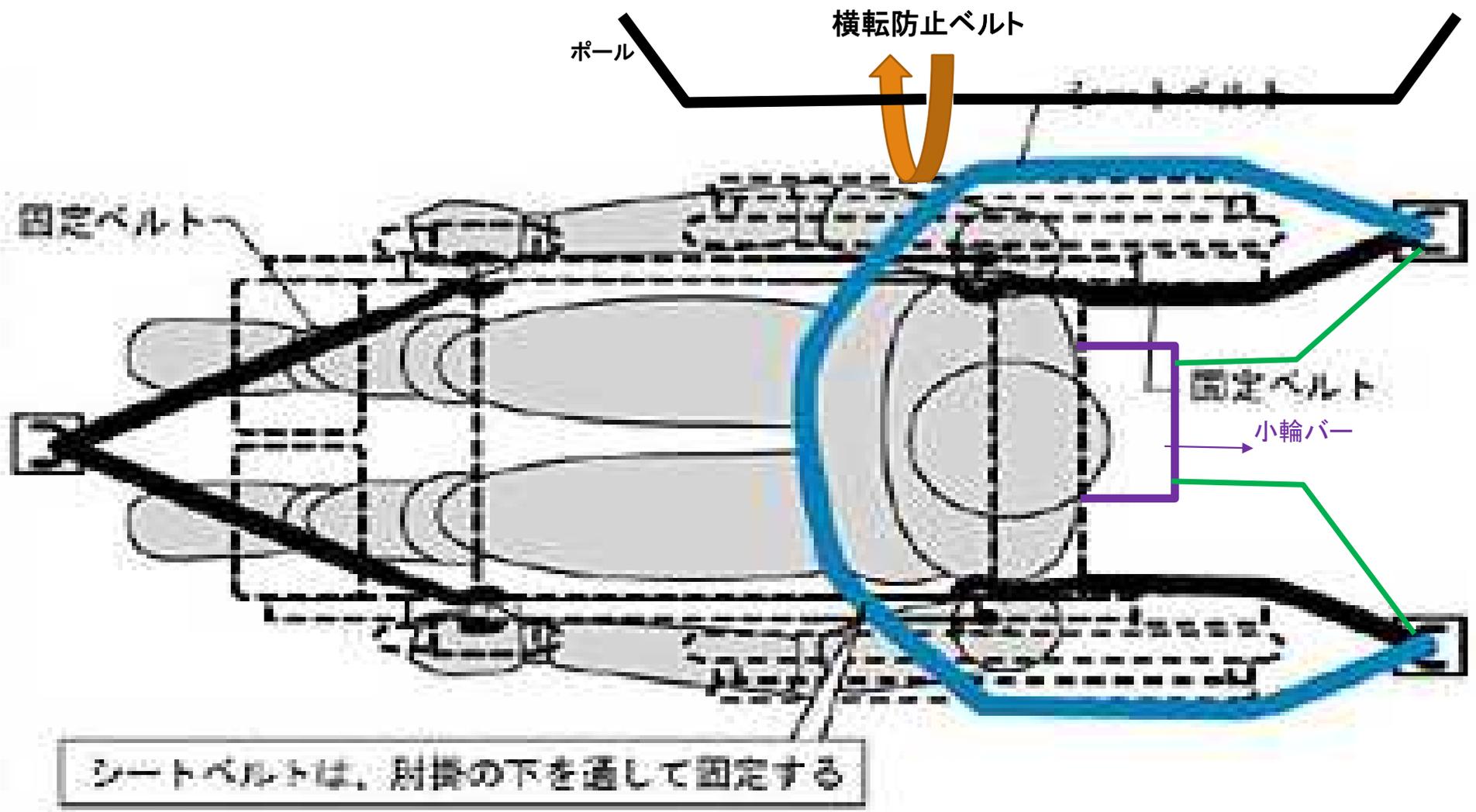
フックをかけた後黒いダイヤルを絞り  
テンションをかける



1. お客様にひっかからないように、フックを内側からかける

2. 最初に準備したシートベルトをかける





1. 運転席から跳ね上げ座席に向かう途中で、用具入れから横転防止ベルトをとる
2. 座席を跳ね上げて、人ベルト(シートベルト)を伸ばしフックにかけて準備する
3. スロープを出し、お客様を定位置に誘導する
4. スロープをしまう(通行人のつまづき防止のため)
5. お客様の後ろ側足元から固定
6. お客様前側を固定
7. 最初に準備した人ベルト(シートベルト)をかける
8. 最後に横転防止ベルトをかける
9. 出発

The background features a light beige gradient with several 3D puzzle pieces scattered across it. A prominent white wavy line with a fine grid pattern curves across the lower half of the slide. The text is contained within a grey rounded rectangle on the left side.

# 電動車いすWHILL 取り扱いについて

横浜市交通局自動車本部

# WHILLモデルC2

## 問題点

①補助用のハンドルがない。背もたれ部分が座面方向に倒れる仕様のため押すことができない

②横の力に弱いため**横転防止ベルト**がかけれない。

※乗降時は(必要に応じて)この肘掛部分を後ろから押して補助する(メーカー推奨部位)



Model C2

# WHILLモデルF(折り畳み式 軽量タイプ)

## 問題点

- ①肘掛の性質はC2と同様、横の力に弱く**横転防止ベルト**はかけられない。
- ②前輪がベビーカーのタイヤのように360°回転するタイプ。
- ③C2同様に補助ハンドルがなく、軽量タイプなため、乗車時に後方へ転倒してしまう恐れがある。

## POINT

以上の理由から、交通局ではFタイプの車いすに乗ったままのバスへのご乗車はお断りいたします。

**※畳んだ状態で手荷物としてのご乗車のみ**



Model F

10/12  
実証実験当日の様様



ニーリングなし  
スロープ板角度20° 以上

### POINT

- ◇スロープ乗降時は4段階ある速度設定を「1」にするようお願いします。
- ◇スロープ角度が高いときや、雨天時などでも最大で「2」までにしてください。



スロープ板のジュラルミンとタイヤの相性が悪く、滑って空転してしまう。  
(一般的な電動車いすでも補助なしでは危険な角度)  
雨天時や車いすのタイヤが濡れている時も危険。



傾斜角度16°  
ニーリングあり

ニーリングすれば、タイヤの空転もなく問題ないため、補助の必要はなく上がれる。  
※基本的に乗務員は、補助ができないので気を付けてご乗車ください。

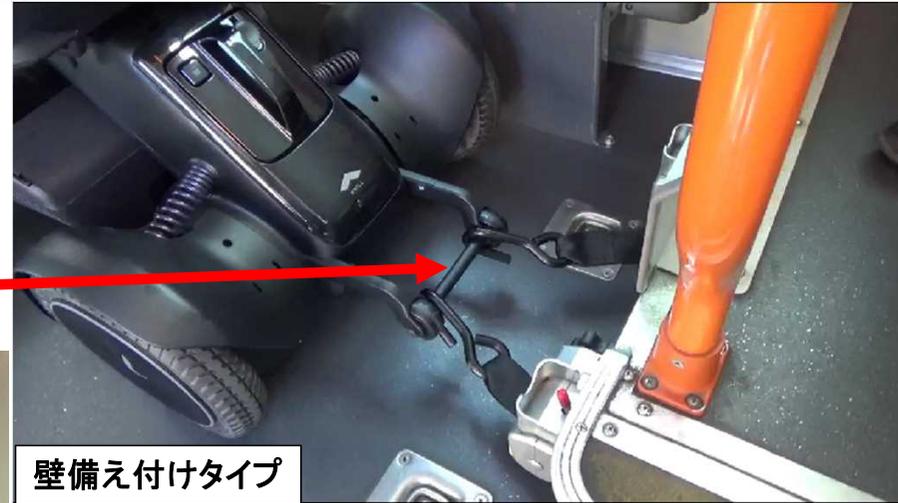
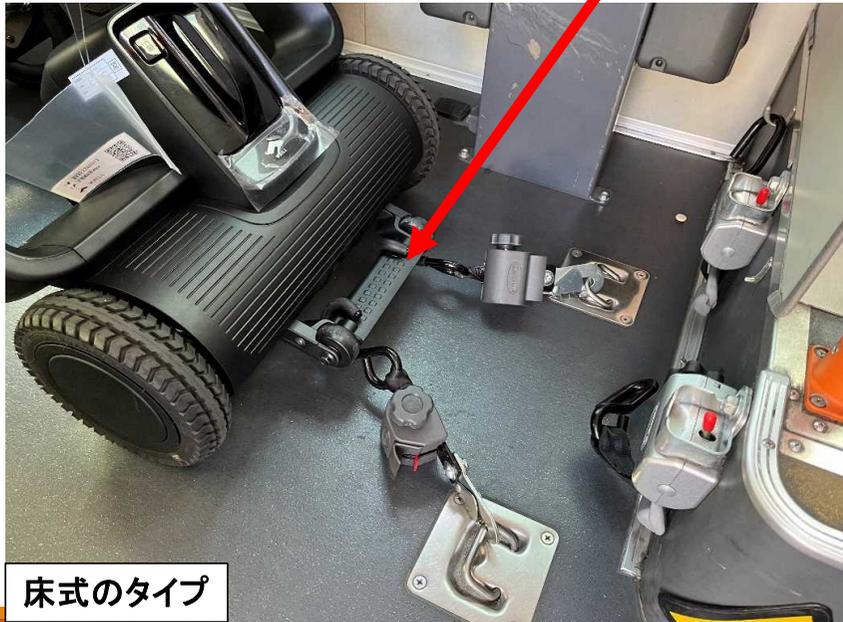
Model JZの増設



ニーリングの故障時や雨天時(何らかの理由でスロープが濡れている)には必要に応じて、乗務員が、図と写真の赤丸箇所を押して補助をおこないます。

# WHILL固定方法 ①

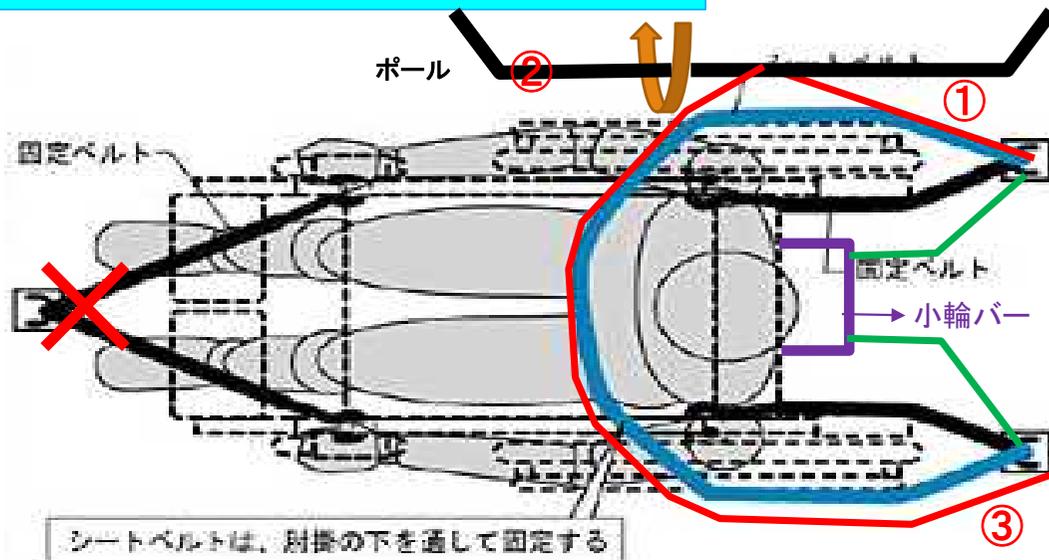
Model CZの場合



**※※注意※※**

**WHILLの電源を必ずOFFにしてください。  
(この状態で動くと破損に繋がります)**

# WHILL固定方法 ②



- ・通常のシートベルトの使用方法
- ・WHILLのシートベルトの使用方法
- ・通常の固定ベルト(車いす後側)
- ・WHILLの固定ベルト(車いす後側)
- ×
- ・WHILLでは使用しない



- ・シートベルトをポールを経由してかけます。
- ・横転防止ベルトを兼ねるため、きつすぎない程度にしっかり締めます。

1本で横転防止ベルトとシートベルトを兼ねる



## WHILL利用のお客様の乗車から降車までの流れ

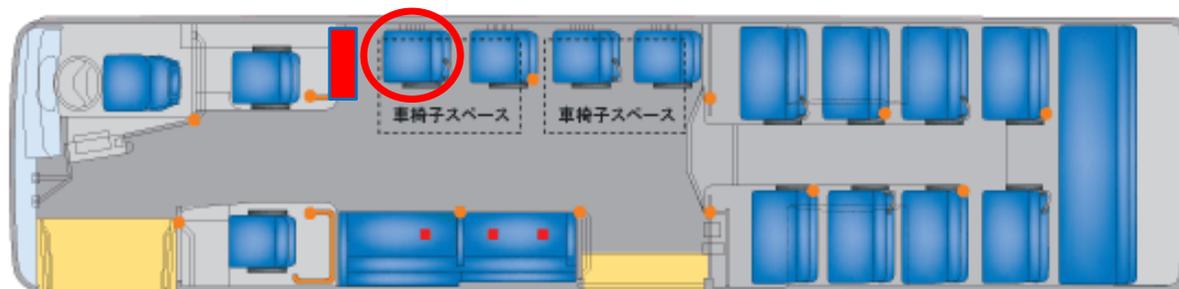
1. バスにご乗車する旨、乗務員にお伝えください。
2. スロープを出した後、お客様自身でご乗車ください。基本的には乗降時の補助ができません。  
※スロープ乗降時は速度設定を「1」にしてください。
3. 車内の固定場所まで進んでいただき、固定できる状態になったら電源をOFFにしてください。  
※ベルトを外すまでは電源を入れないようお願いします。
4. 固定(車いす後ろの小輪にフック、横転防止・シートベルトをかける)
5. 発車
6. 降車バス停着後、固定ベルトを外します。
7. スロープを降りるときも速度設定は「1」でお願いします。

電源OFFで  
タイヤがロック  
するため

## Fタイプ(折り畳み)

1/2

Fタイプ(折り畳みタイプ)は乗降時にスロープ角度によって転倒の恐れがあるため、**車いすに乗ったままの乗車はお断り**させていただいております。  
ただし、**畳んだ状態**で手荷物としてのご乗車は可能ですので、その場合には以下の通りに固定をお願いいたします。



○の座席を畳み ■部分のタイヤハウス側に、手すりと車いすの座面奥のパイプ部分を  
2人乗りベビーカーのベルトで固定します。  
※Fタイプは畳むとタイヤロックが外れる仕組みになっているため、緩くならないよう固定します。



## Fタイプ(折り畳み)

2/2



このパイプ部分に2人乗りベビーカー用のベルトを通します

# バス事業者の責務として

1. お客様の安全を確保する
2. 問題に対しどうすれば解決できるかをみんなで考える

↓↓↓↓↓

【合理的配慮の提供】+安心してご乗車できる環境を整える

バス事業者にはすべてのお客様に安全に安心してご利用いただく責務があります。しかし、乗務員が細心の注意を払っていても、外的要因等により危険を完全に排除することは非常に困難なことです。

バス事業者だけの努力では、安全の確保はできません。

バスをご利用いただくお客様にもご理解を賜り、はじめて安全運行の確保に繋がります。どうぞご協力をお願いいたします。



バス乗車及びベルト固定体験の様子  
お客様も当局職員も皆真剣です。



～意見交換～

## 主な意見 車いすをご利用のかた

- ・バスに乗るが扱いが雑で困る
- ・固定に時間がかかることから遠慮してしまう
- ・短い距離しか乗らない時に申し訳なく思う
- ・このような安全教室を定期的開催してほしい
- ・固定する際、足元に運転手の顔がくるのが嫌だ

## 乗務員

- ・直接触れ合うことでお客様の気持ちになれた
- ・色々なタイプの車いすがあり、様々な固定方法の経験できて良かった
- ・ウィルに関して実際に扱うことなく、教えてもらい勉強になった
- ・形状により（同じウィルでも）固定方法が違うので、お客様との会話による確認が重要であると感じた

ご清聴ありがとうございました。

